

旧車両は、先週フロントサスペンションの組み立てを実施し、車体への仮組みが終わりました。今日は取付位置の微調整とボルト等の本締めを行いました。見た目は走行できそうな状態です。動作も正常です。



サービスマニュアルで指示された位置に調整し、ボルトを本締めします。

各ボルト等を既定の力で締め付け、完成です。

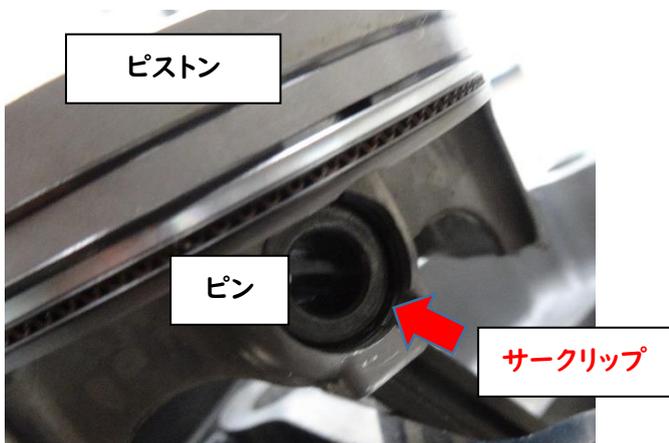
また、部品の破損が見つかり自作した部品に付け替えたキャブレターも車体に戻します。しかし、昨年度は何とか出来た接続も、キャブレターとエンジン本体を接続するインシュレータという部品が経年劣化でさらに硬化していて、接続ができません。新品が入手できないので、対応を検討しています。



色々な方向から力を加えたり、オイルで潤滑してもダメ。

キャブレターとエンジンの接続部です。

新車両の方は、ピストン周辺の点検と組み立てを行いました。エンジン内部は、不具合があると破損につながるのので、慎重かつ確実に作業を進めていきます。



ピストンにピンを入れて、サークリップで固定します。

今日はこの状態まで来ました。カーボンを落としたピストンが綺麗です。